

申1号「盛岡地本第35回定期大会発言」及び 「各支部定期大会発言」に関する申し入れ

JR東労組盛岡地本は7月4日に「第35回定期大会」を開催し、また各支部においても定期大会を開催してきました。大会では、「新生JR東労組運動宣言」に基づき、職場で具体的な運動課題を据え、組合員との信頼関係を創り、組織の強化・拡大に邁進していくことを確認してきました。また、「新型コロナウイルス感染症」に伴っての情勢や会社の経営状況を正しく認識し、組合員の雇用を守るために安全を前提に施策を担い、会社の発展をめざすことを満場一致で確認しています。

組合員の声を基に、本日会社に申1号「盛岡地本第35回定期大会発言」及び「各支部定期大会発言」に関する申し入れを提出しました。

1. 「新型コロナウイルス感染症」に伴っての各系統における対応及び対策を明らかにすること。また、社員の不安を解消し、安全に業務を行える体制を構築すること。
2. 各系統におけるエルダー社員の本体雇用、グループ会社及びパートナー会社等へのエルダー社員の雇用の現状を明らかにすること。また、本人希望を考慮し、雇用を確保すること。
3. 女性設備の整備状況と今後の計画について明らかにすること。また整備する際は現場の声を取り入れること。
4. 各職場で発生した事象の共有方法や議論方法を明らかにすること。また、事象の共有のみならず、更なる「究極の安全」の実現のため、安全文化の構築を図ること。



**組合員の声を基に
会社と議論します！**